



白鳳点描

すべては、「はじめの一步」から

校長 川本 幸則

「風薫る五月」と言われていますが、体調管理に気を付けなければならない真夏日が急に訪れました。職員室の大型モニターに熱中症情報を掲出し、職員には気を付けるよう伝えてあります。また、もうすぐ梅雨の訪れ、湿度も上がります。健康に過ごせるよう栄養をしっかりとって、体を動かし、睡眠を十分にとるようにしていきたいものです。

校長室に一枚の資料が貼ってあります。1896年第1回アテネ・オリンピック陸上競技100m走決勝のスタート時の写真です。中学校の保健体育の授業で資料を見ていた時にみつけ、コピーをしたものです。※この写真は校長室前に掲出します。

スタートラインでスタート態勢にある4人の選手が映っています。

現在の陸上競技の短距離走では、スターティングブロックを置いて、クラウチングスタートの姿勢でスタートすることが当たり前です。腕をスタートラインの前について、かがんだ姿勢からスターティングブロックを強くけって行きます。しかし、小学生については習得が難しく、立った姿勢での「スタンディングスタート」を学習します（クラウチングスタートの学習は、中学1・2年生頃が効果的との学術論文もあります）。

第1回のアテネ・オリンピックの100m競走では、アメリカのパーク選手が優勝したとのこと。そして、パーク選手のスタート姿勢はクラウチングスタートなのです。この優勝で、このクラウチングスタートが広く知られるようになったと言われています。ちなみに、写真に写っている他の選手は、スタンディングスタートだったり、両手に棒みたいなものを持って地面に付けて体を支えたりしています。

どのようなことでも、最初はこれまでと違っていることで、周りとは違っています。やってみることは勇気が必要です。しかし、誰かが「はじめの一步」でやってみる、挑戦することで新しいものが生まれてくるものです。

子どもたちの世界では、大人が当たり前と思っていることも初めてだったり、挑戦だったりします。そして、新しいことに一つ一つ挑戦し、少しずつ成長していきます。時には、積み重なった挑戦の力で大きく成長することもあります。小学生の今、子どもたちが「はじめの一步」を踏み出しながら毎日を過ごし成長を続けています。時には、失敗することもあると思いますが、子どもたちを見守り、支えていくことで安心が生まれ、様々なことに取り組んでいけるものです。

新型コロナウイルス感染症については、現在、落ち着いてはいます。しかし、今後、どのようなようになっていくかはわかりません。そのような状況においても、知恵を出し合い、子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。

学校への電話連絡につきまして、職員の勤務時間を加味して、4月から変更させていただきました。御家庭のご協力のもと対応できていることに感謝申し上げます。また、下校後に忘れ物を取りに来ることにならないよう各学級で指導しています。下校後、ずいぶん時間がたった後に児童だけで来校する場合もあり、心配することもあります。他の手段や代替できる方法を考えさせ、子どもたちに工夫させていただきようお願いいたします。保護者の皆様の御協力を仰ぎながら、子どもたちの健康や安全を守り、楽しく笑顔のあふれる学校を目指していきます。どうぞよろしくお願いいたします。